



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

会長あいさつ

第六十一代会長 森 健二



この度、飯能ロータリークラブの第61代会長を拝命いたしました。クラブの歴史の長さと、その品格を思いますと、大変身の引き締まる思いです。微力ではございますが、誠心誠意努めますので、会員の皆様のご指導とご協力をお願いいたします。今年度は、会員の皆様に感動していただけるようなクラブ運営を行っていきたいという気持ちを込めて、飯能ロータリークラブのテーマを「感動を呼び起こそう」といたしました。主な重点項目は以下のとおりです。

- (1) **60周年記念事業**: 今年度は飯能ロータリークラブの創立60周年記念事業と記念式典を行う年度です。60周年事業では「地域への愛と奉仕・60年の誓い」をテーマとして掲げ、社会福祉協議会と手を携えて、恵まれない方の為の「基金」を設立したいと考えています。ご協力の程、よろしくお願ひいたします。
 - (2) **地域諸団体との連携強化**: 地元飯能に関する情報等を得られるように、飯能市役所を始めとして駿河台大学や社会福祉協議会、商工会議所などの団体との連携を深めていきたいと考えています。
 - (3) **行動計画の策定**: 今年度からロータリーでは複数年度の行動計画や未来に向かうためのビジョンの策定が求められています。会員の皆様のご意見を汲みながら会長エレクト・副会長と相談しながら、将来も発展し続けるための行動計画及びビジョン策定を行っていく所存です。
 - (4) **会員増強**: 国際ロータリー第2570地区では、地区で100名、各クラブで2名の純増を求めております。当クラブでも会員増強は重要な課題と認識しており、会員増強委員長を中心に、会員増強に力を入れたいと思います。しかし一方では、クラブの品格を保つためには、ロータリーランとしてふさわしい人材確保が必要であり、会員選考委員長のお力もお借りしていく所存です。
 - (5) **出席率の向上**: 前年度は担当委員長を始めとして、役員の皆様がいろいろと工夫を凝らして出席率を大幅に向上させました。今年度においても、その努力を踏襲していこうと思います。
 - (6) **ニコニコBOXについて**: ニコニコBOXの存在意義を再考し、その活用増加を目指します。また、集まった善意の何割かを「基金」設立に充当しようかと考えていますので、ご協力の程よろしくお願ひします。
 - (7) **地区ラーニングへの参加**: 感動を感じるためには、ロータリーランとしての経験が必要です。経験を積むためにはロータリーのことを深く知っておく必要があります。ロータリーのことを知るためには、知識が必要になります。そして知識を得るためにラーニング(研修)が必要になってきます。今年度は、地区RLIセミナーへの参加を促したいと考えています。特に入会年数の浅い会員全員が参加できるよう、情報提供を積極的に行っていきたいと思います。
- 今年度は、通常年度に加え記念事業も実行するため、役員・委員長を始めとして、会員の皆様には一層ご負担をおかけすることになるかと思いますが、1年間ご協力をよろしくお願いいたします。

任期を終了して

第六十一代会長 森 健二



飯能ロータリークラブ 2024 - 2025 年度、第 61 代会長として無事に任期を終了する事ができました。一年を振り返り感謝するとともに、ご挨拶を申し上げます。

今年度 RI 会長ステファニー A. アーチック氏のテーマは「THE MAGIC OF ROTARY」でした。ロータリーアンの行動が感動を呼び起こす事例をあげられ、世界の中でロータリーにできることは数多くあると発信されました。

また 2570 地区ガバナー五十幡和彦氏は「入って良かったロータリー」をテーマとして、積極的に出会いを通じて様々な経験を積むとともに、社会の一助に貢献できる奉仕活動などの体験を通して、入って良かったと実感できることの大切さを述べられました。

これらを踏まえ、当クラブの本年度のテーマは「感動を呼び起そう」とさせていただきました。会長として感動的な運営を一年間行うことができたのか甚だ心許ない気もしますが、委員会の活発な活動と会員の皆様の積極的な参加のおかげで充実した一年となつたこと、改めて感謝申し上げます。

さて、今年度は課題が二つありました。一つは厳しい予算編成を余儀なくされたこと、もう一つはクラブ創立 60 周年記念式典開催です。

まずははじめの厳しい予算編成に関してですが、昨今の全般的な物価高の影響により必要な事業費の負担が増大し、資金不足の可能性を心配していましたが、各委員長をはじめとした委員の皆様の頑張りと、ニコニコボックス等への協力のおかげで、何とか資金不足を起こすことなく一年を終了できました。心より感謝申し上げます。

クラブ創立 60 周年記念式典の開催ですが、まず実行委員長をどなたにお願いしようかと苦慮していたところ、土屋パスト会長が快く引き受けてください、安心したことを覚えています。実行委員長は全般的な統括管理を行う負担の大きい役職ですが、率先して細かいところまでご指導していただき本当に有難うございました。

また、副実行委員長をはじめとして、担当委員会の皆様もそれぞれが責任をもって、アイデアを出していただき、素晴らしい記念式典が開催できたこと、大変誇りに思います。改めて飯能ロータリークラブ会員の皆様の底力を感じることが出来ました。

最後になりますが、事務局の皆様にも大変お世話になりました。気が付かないこともフォローいていただき大変助かりました。誠に有難うございました。

一年を通じ大きな事故もなく、無事に任期を全うできたことは、ひとえにクラブ全体のご協力のおかげです。振り返ればあっという間の一年でした。私自身多くの体験と勉強をさせていただき、改めて心より感謝申し上げます。大変お世話になりました。